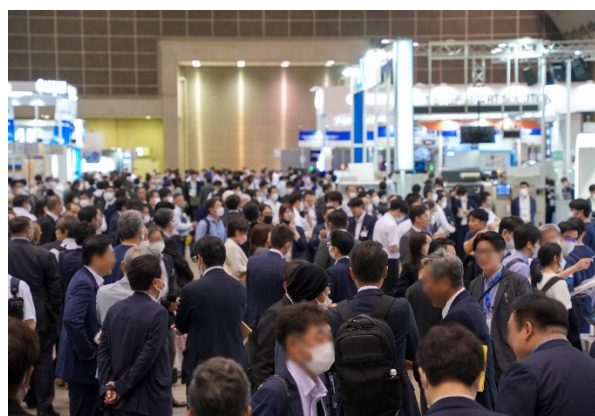


インターオプト開催報告

光&次世代
アプリケーション・
ネットワークシステム展

INTERNATIONAL OPTOELECTRONICS EXHIBITION

InterOpto®



最先端光技術の展示会であるインターオプトを 5月31日(水)～6月2日(金)の3日間、東京ビッグサイトにて開催した。

2023年度のインターオプトは2022年度に続き、「光&次世代アプリケーション・ネットワークシステム展示会」として「JPCA Show」を中心に構成される「電子機器トータルソリューション展2023」の中で開催された。

インターオプトは当協会が主催し、株式会社JTBコミュニケーションデザインが企画・推進、経済産業省ほか多数の団体の後援・協賛を得て開催されている。出展対象は、自動車・車載、光通信・データ伝送、製造・生産、AV・家電、ヘルスケア・医療分野など広範囲にわたり、新たなデジタルトランスフォーメーション時代に対応する光技術・光機器の展示会としている。同時開催展示会は、光関連の「Imaging Japan」の他、電子機器・デバイス・実装機器の総合展示会である「JPCA Show」「Smart Sensing」「Edge Computing」

等の全 12 展示会で実施した。

今回は同時開催展全体では東京ビッグサイトの東 2～6 ホールを使用し、開催期間 3 日間の来場者数は、「電子機器トータルソリューション展 2023」を構成する全 12 展示会合計で 48,018 名と前回の 27,972 名から大幅に増加し、社会が新型コロナウイルス感染症から脱しつつあることを実感させる活況となった。

初日朝に展示会場イベントステージにて開催されたオープニングセレモニーでは、「電子機器トータルソリューション展 2023」を構成する各展示会の主催団体の代表者によるテープカットが行われ、当協会からは副理事長・専務理事の小谷泰久が登壇した。

展示ホールでは、インターオプトの中で恒例の「注目される光技術・特別展示ゾーン」を設置し、当協会の光技術動向調査委員会の分科会から推薦された 9 団体が当協会からの出展支援を受けて技術・商品を表示するとともに、展示会場内セミナー会場にて自社技術・製品についての講演を実施し、自社技術・製品のアピールを行った。

注目される光技術展示 出展者リスト

出展者名	出展技術(出展名)
株式会社 Stella	光計測による運動能力計測装置
株式会社大興製作所	深紫外線 LED に対する光学部品を用いた最適な光の照射とその応用
株式会社オレンジアーチ	視線追跡システムを用いたストレスフリーなコミュニケーションの開発
パイフォトンクス株式会社	光パターン形成 LED 照明「ホロライト・シリーズ」～安心安全・面白い・新しい光の使い方～
マイクロシグナル株式会社	ドット受光 IC が実現する高速・高 S/N センシング
株式会社 SteraVison	人の目のような視覚システムを実現する LiDAR
ジーニアルライト株式会社	小型、高精度な血液、液体、体液の光学センシング
芝原工業株式会社	安全性を確保し、教育ツールとしても使えるレーザー溶接用電子ゴーグルの開発について
アイオーコア株式会社	超小型 128Gbps 光トランシーバチップ「IOCore™」

一方、当協会ブースでは、光産業・光技術に関する写真・パネル、各種調査報告書の展示、および技術情報レポート等の無料配布など、最新情報と当協会の活動を紹介した。

また、開催初日の 5 月 31 日 (水) には、会議棟 1 階の 102 会議室において、2023 年度 OITDA セミナー『産業の高度化・微細化に貢献する光・レーザー技術』を併催した。

インターオプトは 2021 年 10 月より 3 回にわたり、「光&次世代アプリケーション・ネットワークシステム展示会」として、「JPCA Show」を中心に構成される電子機器トータルソリューション展の中で開催し、電子機器における光技術の重要性を訴求してきた。

今後は、先端光技術の最新動向と広範な他技術分野への応用可能性を訴求できる場とできるよう、2024 年秋を目標に開催準備を進めていく。